

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 8 男女共同参画に関する広報と情報提供					
「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知	「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知を図る。	平成21年10月に「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」を改定発行した。また市職員を対象とした研修を開催し、手引きの内容説明及び、参加者が実際に作成した印刷物に対する具体的なアドバイスを行った。 研修参加者 計 35名<研修参加者 計 29名> また全庁OA(市職員向け)に手引きを掲載し、全課に周知している。	B	市長) 広報課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
ユニバーサル都市・福岡の推進	年齢、性別、能力、背景などに関わらず、すべての人にとって住みやすく、来てみたくなる、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向け、ユニバーサルデザインの考え方に対する市民の理解促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル都市・福岡賞の創設・表彰式の実施(平成25年10月27日) ・ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの実施(平成25年9月28日～平成25年10月27日) ・キャンペーン・広報活動の実施等(5回) ・ホームページ・ソーシャルメディアの活用、出前講座の実施等(3回) ・子ども気づきデザインの企画・実施(3回) ・ユニバーサル都市・福岡デザインチャレンジの実施(4回) ・NPO等による取組みへの支援(事業費の4/5、上限40万) ・NPO、大学等との連携による推進(1回) ・児童向け教材の作成、活用(市内の新4年生全員に配布) ・全庁におけるユニバーサル都市・福岡推進本部会議の開催(1回)、関係課長で構成する幹事会の開催(1回) ・eラーニングの活用、新規採用職員への講師派遣等(2回) 	B	総) 企画調整部	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		15,000千円	<26,650千円>		
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるように全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し、周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作)(平成19年改訂) 行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。	B	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに応じた広報を行う。	男女共同参画推進にかかる市政だよりの広報 広報実績 計6回掲載<計8回> <ul style="list-style-type: none"> ・市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」と「男女共同参画フォーラムin福岡市」の周知(11/1号) ・男女共同参画推進嘱託員募集(12/15号) ・「モデル校区地域リーダー育成塾」報告会の開催(3/1号) その他(市後援事業など) 3件	A	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに応じた広報を行う。	情報BOXのページにアミカス欄を設け、事業実施前の適切な時期に記事を掲載。掲載件数:54件<85件> 南区医師会との共同主催の講座 南区版に掲載:1件<1件> 職業訓練協会との共同主催の講座 お仕事欄に掲載:11件<4件>	A	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
市HPでの情報提供	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	本市の男女共同参画にかかる情報に関しては下記アドレスにて情報を発信している。 福岡市トップページ→生活情報→ <u>人権・男女共同参画</u> 25年度の主な掲載内容 ・男女共同参画審議会 ・男女共同参画フォーラムの開催 ・「モデル校区地域リーダー育成塾」報告会の開催 ・男女共同参画推進協議会 ・ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 ・社会貢献優良企業優遇制度の募集 ・男女共同参画推進員(嘱託員)募集 等	A	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
インターネットによる広報(アミカスHP)	アクセス件数を250,000件以上にする。 メルマガ登録数を1,500件以上にする。	○ホームページによる広報 ・男女共同参画推進センターの施設案内、事業概要、イベント、講座等の案内・募集、事業報告、アンケート集計等 ・調査研究報告書、図書情報、出版物の紹介 ・女性関連情報サイトへのリンク アクセス件数 222,851件<222,881件> ○メールマガジンの配信 メールマガジン登録者に男女共同参画推進センターの案内や男女共同参画の情報等を配信した。 登録数1,157件<登録数1,080件>	B	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	出前講座において男女共同参画社会基本法、男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。 実施回数 10件<13件> 参加者数 328人<344人> 受講者の満足度 91.6%<94.0%>	B	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
人材情報の提供	人材登録者数を300件以上にする。	女性問題の視点から人材情報を収集し提供した。人材情報の登録及びインターネット等による情報を提供。 登録数:286件<286件> 提供件数:22件<21件>, その他13件<9件> WEB検索については、教育委員会生涯学習課のホームページ「まなびアイふくおか」の人材バンクで検索可能。	B	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		
広報紙の発行	広報紙に関しては、紙媒体から電子媒体へ移行していくことを考慮に入れ発行する。	男女共同参画推進センターの事業等を紹介するとともに、女性問題解決のための情報提供や啓発を行った。 ○広報紙「アミカスタイムズ」の発行 発行回数:年3回 発行部数:7,000部/回 配布先:全国の男女共同参画行政機関・施設、マスコミ、近郊大学・短大、市内の企業・病院、市情報プラザ、市民センター 等 ○「アミカスイベントナビ」の発行 発行回数:年2回 発行部数:12,000部/回 ○情報紙「アミカかわら版」の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:2,800部/回<同左> ○アミカス図書室情報案内の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:1,000部/回<同左>	A	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		25年度予算額	24年度予算額		
		-	-		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・お仕事再開プチサロン[12/17RKB今日感テレビ] ・男性カレッジ[2/8KBCANNスーパーJチャンネル]	B	市) 事業推進課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
-	-					
アミカス図書室による情報の提供	蔵書数 44,000冊 貸出数 57,000冊 利用者数 46,000人	男女共同参画や女性問題に関する図書・資料等を収集し、貸出・閲覧・レファレンスを行った。 蔵書数: 45,044冊<44,065冊> 貸出数: 50,958冊<53,849冊> 利用者数: 44,763人<42,699人> レファレンス受付件数: 1件<1件>	B	市) 事業推進課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>18,493千円</td> <td><18,256千円></td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
18,493千円	<18,256千円>					
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数 50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 12回<25回> ・講座の受講者数 延べ404人<671人> ○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ 「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全2回 参加者数 延べ183人<全4回 参加者数 延べ35人>	B	市) 事業推進課		
ココロンセンターだより	センターの事業紹介をはじめ、人権啓発情報を提供し、市民の人権意識の向上を図る。	・6月、9月、12月、3月の年4回発行 ・発行部数各4,000部<4,000部> ・ハートフルフェスタや人権尊重週間行事、女性の活躍についての記事や見守りダイヤル・性暴力被害者支援センターふくおかの紹介等を行った。 ・配布先: 公民館, 市民センターなど, 市の公共施設	B	市) 人権啓発センター		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>430千円</td> <td><430千円></td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
430千円	<430千円>					
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上(マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性に関する問題をテーマとしたものを3本制作・12回放送した。	B	市) 人権啓発センター		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>13,612千円</td> <td><13,612千円></td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
13,612千円	<13,612千円>					
「まなびアイふくおか」による広報	ホームページ「まなびアイふくおか」、情報誌「まなびアイふくおか」、市政だより等を通じて、福岡都市圏のさまざまな機関・団体が開催する男女共同参画に関する事業を紹介する。	「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか(ホームページ)」の講座・イベント情報及び情報誌「まなびアイふくおか」のなかで、男女共同参画に関する事業を紹介した。 1 ホームページアクセス数:1,282,047件<1,177,522件> 2 情報誌 ・発行回数: 年4回<同左> ・発行部数: 1,305部<1,375部> ・配布先: 市民センター, 区役所, 情報プラザ, 総合図書館等	A	教) 生涯学習課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> <tr> <td>105千円</td> <td>-</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
25年度予算額	24年度予算額					
105千円	-					

施策の方向 3 市民等との連携・共働の推進

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 9 市民団体、NPO、自治協議会等との連携・共働				
市民グループ活動支援事業	イベント部門 30 企画 調査研究部門 1 企画	(具体的施策 3再掲) イベント部門 40企画<31企画> 調査研究部門 1企画<1企画> 事業報告会参加者数 59人<73人> 報告書 1種類 800部発行<1種類 700部発行>	B	市) 事業推進課
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業		(具体的施策 4再掲) 市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。 支援回数:54件<52件> (内訳) プログラム作成 0件<1件> 講師紹介 24件<40件> アミカス劇隊派遣事業 8件<8件> 出前講座 22件<3件>	B	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣回数50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した30人と、前期より継続して登録した17人、合計47人(女性39人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 12回<25回> ・講座の受講者数 延べ404人<671人> ○第4期男女共同参画推進サポーターのフォローアップ 「男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座」の実施 平成24年度から3年間、市民講師として派遣する第4期サポーターの研鑽を図るための講座を実施した。 全2回 参加者数 延べ183人<全4回 参加者数 延べ35人>	B	市) 事業推進課
登録団体との共働事業	「市民・行政共働型」啓発をさらに効果的に推進する。	平成24年度は、男女共同参画の分野で活動している団体等が共働事業として参加・計画をし、はじめての試みとして人権フィールドワークを開催。一般市民の方を公募し、子どもの人権・障がい者の人権・部落差別に学ぶ事を目的に各施設などで現地学習を行った。 平成25年度は、福岡の皮革産業の歴史や部落差別について学ぶため、福岡市博物館や人権のまちづくり館をめぐる人権フィールドワーク(現地学習会)を実施した。 予 算 額 25年度予算額 54千円 24年度予算額 <54千円>	B	市) 人権啓発センター
人権啓発センター登録団体交流会	参加団体数の増加	全参加団体28団体中、女性・男女共同参画の分野に関する団体は5団体。他の人権分野の団体も含め、交流を図った。 平成25年度は、実施を見送った。 予 算 額 25年度予算額 28千円 24年度予算額 <28千円>	—	市) 人権啓発センター
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。 補助金交付団体数 148団体<148団体> (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付) 予 算 額 25年度予算額 484,796千円 24年度予算額 <483,185千円>	A	市) コミュニティ推進課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時) ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家) ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター) ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アマカス副館長 安部 修 氏 ⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人) ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加 ④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加 (各校区複数名) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名) ⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピュタファーム代表 杉本利雄氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名)	B	博) 地域振興課
中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援	校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。 校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。	(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者会を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更) ①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供 ②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。 ③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名) ④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード	B	中) 企画振興課 ※25年度は、地域振興・支援課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
南区男女共同参画連絡会活動支援	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催</p> <p>1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」</p> <p>2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏(佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p>	B	南) 企画振興課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
城南区男女共同参画連絡会活動支援	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度、女性の視点で捉え、この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員,自治協関係者,公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師:八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p>	B	城) 地域支援課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
早良区男女共同参画協議会活動支援	<p>校区活動の活性化へつながる活動の支援。</p> <p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当</p> <p>①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役)</p> <p>②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏</p> <p>③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長)</p> <p>④室見公民館 71名(76名) 「婚学」で男女共同参画社会を作る 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教)</p> <p>2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加)</p> <p>3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置</p> <p>4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当</p> <p>①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏</p> <p>②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等</p> <p>③研修会「男女共同参画ってなあに？」 54名 安部 修氏(アミカス副館長)</p> <p>5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみようよ! 共同参画」</p> <p>6. 「早良区のつどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p>	B	早) 地域支援課
西区男女共同参画連絡会活動支援	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。</p> <p>1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「ともにつくろう いきいきとしたまち」 230名(300名)</p> <p>2. 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名)</p> <p>3. 委員交流・意見交換会</p> <p>①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定</p> <p>②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区)</p> <p>③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催</p> <p>④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たち今“いきいき”してますか」</p> <p>4. 全体会</p> <p>①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催)</p> <p>5. 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行(43・44号は6400部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。</p> <p>6. 男女共同参画表彰 受賞者:1団体(受賞者:5名, 3団体)</p>	B	西) 振興課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
婦人会館フェスタ	婦人会館を利用する団体・グループの相互の連携と協調をはかり、日頃の活動成果を広く市民に発信するとともに交流を図る。	<p>主催事業及び婦人会館利用のグループ・団体との共催事業実施を進め女性グループの組織化や自立化を促進する。</p> <p>25年度は未実施 参加グループ数〈24年度は26グループ〉 入場者数〈24年度は4,298人〉 ※平成22年度より隔年開催。</p> <p>予 算 額(予算額は婦人会館における講座・講演会の全体予算)</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>1,039千円</td> <td>〈1,045千円〉</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	1,039千円	〈1,045千円〉	—	教) 婦人会館
25年度予算額	24年度予算額							
1,039千円	〈1,045千円〉							
<p>具体的施策 10 大学との連携</p>								
未実施		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額				
25年度予算額	24年度予算額							
<p>具体的施策 11 報道機関との連携</p>								
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるように全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	<p>(具体的施策 8再掲) 「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し、周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作) (平成19年改訂)</p> <p>行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。</p>	B	市) 男女共同参画課				
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	<p>(具体的施策 8再掲) テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・お仕事再開プチサロン[12/17RKB今日感テレビ] ・男性カレッジ[2/8KBCANNスーパーJチャンネル]</p>	B	市) 事業推進課				
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上(マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	<p>(具体的施策 8再掲) 様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性に関する問題をテーマとしたものを3本制作・12回放送した。</p>	B	市) 人権啓発センター				

施策の方向 4 国際理解・交流の推進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 12 男女平等に関する国際理解の推進				
海外の女性情報の収集及び提供	蔵書数55種類 リンク数を20にする	○英文資料を収集・提供 蔵書数：52種類(52種類)	B	市) 事業推進課
		○アミカスHPから7つの海外サイトにリンクしている。(7)		
		予 算 額		
		25年度予算額	24年度予算額	
		-	-	
具体的施策 13 在住外国人女性への支援				
区役所業務に係る 在住外国人窓口案内・相談事業	外国人が利用しやすい 相談窓口とする。	東区市民相談室に通訳を配置し、区役所業務に係る案内・相談や市政に係る相談を受け付けた。 相談件数 98件(117件) ・英語 月曜日 ・中国語 木曜日 13:00～16:00	B	総)国際課
		予 算 額		
		25年度予算額	24年度予算額	
		794千円	〈794千円〉	
在住外国人の生活 環境整備事業(在住 外国人のための日 本語学習支援)	市主催・民間含め日本語ボランティア教室の 延べ数の維持・拡大	市内5か所の市民センターにおいて市民ボランティアとの共働により日本語教室を実施した。 また、他のボランティア日本語教室についても、一覧としたパンフレット「にほんごClass Map」を更新し、区役所窓口などで配布し 在住外国人への周知に努めた。 H25.9月時点の教室数51教室(市主催・民間含む) 〈H24.9月時点の延べ教室数60教室〉	B	総)国際課
		予 算 額		
		25年度予算額	24年度予算額	
		2,844千円	〈2,804千円〉	

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
外国語版広報印刷物の発行	現状のサービスを維持する。	<p>○外国語情報紙の発行 ((公財)福岡国際交流協会 レインボープラザ編集・発行) ・英語版 隔月刊 5,500部 ・中国語版・韓国語版 隔月刊 各2,500部</p> <p>○リビング・イン・フクオカ(外国人のための生活便利帳) 区役所窓口で無料配付</p>	A	総)国際課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>27,451千円</td> <td>〈26,450千円〉</td> </tr> </table> <p>※予算額は国際部「リビング・イン・フクオカ」予算と福岡国際交流協会「一般相談・情報提供」の合計額</p>	25年度予算額	24年度予算額	27,451千円	〈26,450千円〉		
25年度予算額	24年度予算額							
27,451千円	〈26,450千円〉							
国際交流協会事業(レインボープラザにおける相談・情報提供)	現状のサービスを維持する。	<p>○(公財)福岡国際交流協会 レインボープラザでの多言語相談・情報提供(英語・中国語・韓国語) ・法律相談 月2回 ・入国・在留・国籍相談 月1回 ・カウンセリング 週3回 ・健康相談 週1回 ・全体の相談件数8,124件(8,035件) ※外国人に対する相談のみ</p>	A	総)国際課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>26,764千円</td> <td>〈26,732千円〉</td> </tr> </table> <p>※予算額は福岡国際交流協会の「一般相談・情報提供」と「外国人専門相談」の合計額</p>	25年度予算額	24年度予算額	26,764千円	〈26,732千円〉		
25年度予算額	24年度予算額							
26,764千円	〈26,732千円〉							
アミカス日本語クラス		<p>アミカス日本語クラスとの共催により講座を実施。 主に国際結婚、夫の仕事などで、福岡に来た外国人女性のための日本語クラスを実施。</p> <p>全40回 参加人数:延べ651人(19カ国)〈延べ724人(19カ国)〉</p>	A	市) 事業推進課 (実施主体: アミカス日本語 クラス)				
外国人母子保健サービス事業	在住外国人の母子に対するサービスの向上	<p>外国語版母子健康手帳の交付 交付数50冊(50冊)</p> <p>※乳幼児健康診査時に英語版のアンケート用紙を使用</p>	B	こ) こども発達支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	-	-		
25年度予算額	24年度予算額							
-	-							
保健師等の訪問指導等における外国語通訳業務	在住外国人に対するサービスの向上	<p>保健師等が日本語の通じない外国人家庭を訪問する際に、保健相談・指導業務を円滑にするための電話通訳業務</p>	B	こ) こども発達支援課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>863千円</td> <td>-</td> </tr> </table>	25年度予算額	24年度予算額	863千円	-		
25年度予算額	24年度予算額							
863千円	-							